大宮をのぞく　～"ミチマチサービス"から広げる"街の道"の使い方～

00 提案

大宮は歴史ある神社や鉄道の発展に伴い開発された建物や店舗などが雑多に存在している。その状況を一望できるシステムを提案する。

現在の"実空間"
それぞれの目的地を目指す様な、大宮の局所的な体験が多い。

→

オープンプラットフォーム
"マチミチサービス"
誰もがアクセスすることができ、画面から大宮の全域を一望できる。

"マチミチサービス"とは、、、
今まで簡単に利用できなかった道を積極的に利用させ、道の質や街の魅力が維持することを目的とする。(推進戦略の柱③) さらに、画面上のマチミチサービスで行ういくつかの方法を通して、大宮を利用する人々に雑多なモノやヒトを具体的に提示することで、まちの中での回遊性(推進戦略の柱①) やまちの中での滞在性 (推進戦略の柱②) にもつながると考える。

01 マチミチサービスの実現方法

さいたま市はスマート技術により収集したデータを基にしたスマートインフラモデルを計画し、大宮駅・埼玉新都心周辺を対象に「スマート・ターミナル・シティ」を目指している。このスマートインフラモデルの一部に"マチミチサービス"を導入する。

さいたまの取り組み

スマート・ターミナル・シティ ←

さいたま版スマートインフラモデル
・ビックデータ活用による交通基盤整備
(GCS バスターミナルなど)
・シェア型マルチモビリティの充実
(周遊空間の設備、回遊性の向上)
・マチミチサービス

← データプラットフォーム
・モード別移動軌跡データ
・建物インフラデータ
・市民の健康情報
・共通プラットフォームさいたまの広域展開

02 マチミチサービスによる道の利用方法

大宮を利用する全ての人が、画面上のマップに道の様子や情報を書き足していく

ex1)　ルート
大宮の魅力を伝えるルートを紹介。
利用者は自由にルートを書き足すことができる。

ex2)　イベント
行政、店舗経営者が大宮に関連するイベントを企画し、大宮の公共空間で開催する。

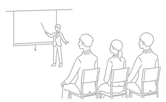
ex3)　オープンテラス
大宮の訪問者はアプリを使って、イスやテーブルをレンタルすることができる。

03 マチミチサービス利用への取り組み方法

多くの人々に利用を促すために

店舗経営者に向けた説明会

取扱方の website



住民に向けた説明会